

JAPIC NEWS

Japan Pharmaceutical Information Center



クロアチアの歴史的な町にある世界遺産「トロギール」

August
2026
No. 507

8

Contents

● 巻頭言

JAPIC理事に就任して

一般財団法人日本医薬情報センター 理事 中山 智紀 2-3

● インフォメーション

7月末発売! 4

JAPIC「医療用・一般用医薬品集インストール版 2026年7月版」

JAPIC「OTC医薬品CD-ROM 2026年7月版」

医薬品集 発刊のご案内 5-6

JAPIC「医療用医薬品集 2027」CD-ROM付 9月初旬発刊

JAPIC「一般用医薬品集 2027」 9月初旬発刊

JAPIC「医療用医薬品集 薬剤識別コード一覧2027」 8月下旬発刊

日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会に出展しました 6

「第53回・2026年度GMP事例研究会」開催のご案内 7

● トピックス

「理事会」「評議員会」の概要報告 8

● コラム

くすりの散歩道No.175 「一杯のおいしい麦茶」

(一財)日本医薬情報センター 事業部門 医薬文献情報担当 松本 彩希 9

● 外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報よりー (抜粋) 10

● 図書館だより No.433 11

● 情報提供一覧 11

JAPIC
Japan Pharmaceutical Information Center

一般財団法人 日本医薬情報センター

JAPIC理事に就任して

一般財団法人日本医薬情報センター 理事

中山 智紀 Tomonori Nakayama



この7月1日からJAPICの業務執行理事(常勤)に就任することになりました。昨年6月30日に消費者庁食品衛生・技術審議官を最後に、昨年7月1日付で親元の厚生労働省に一旦戻って同日付で退職したので、常勤の仕事には1年ぶりに就くことになりました。先輩方を見ていると、常勤の仕事への再就職には、短くても3か月、もしかすると1年以上かかるのかなと1年前は想像していましたが、ちょうど1年間で再就職のご縁をいただきました。1年間にわたる長い「休暇期間」をいただいた気分ですが、これからまた気持ちを引き締めて取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて、就任に当たっての巻頭言ということで、厚生労働省時代のこと、そして今後のことについて思うところを書かせていただきたいと思います。

私は、平成元年に大学薬学部卒、平成6年に大学院博士課程を修了して、当時の厚生省に入省しました。大学に入った頃は「製薬会社に入って、薬の開発に携わりたい」と思っていたので大学薬学部、大学院に進んだのですが、大学院博士課程の1～2年生の頃、自分には研究の才能がないように感じて、国家公務員の道に進むことに変更しました。大きな路線の変更でしたが、30年あまり経って振り返ってみると、それで正しかったかなと思っています。厚労省(他省庁等への出向含む)には通算で31年3か月在籍しましたが、薬事(医薬品の審査、医療機器・再生医療等製

品・体外診断薬の審査、GMPや食薬区分等の監視指導)、薬価・調剤報酬、医薬品等の研究開発、食品衛生等の行政に携わりました。その中で思い出深かったことをいくつか取り上げさせていただきます。

●堺市をはじめとする全国的なO157食中毒事件対応

平成8年4月、入省3年目でそれまで獣医系技官が担当していた食品衛生の監視係長(食中毒担当)に就きました。薬系技官としては初めての慣れない仕事で不安ばかりの中、着任から3か月あまりで堺市のO157大規模食中毒事件が発生しました。その対応で朝から深夜のタクシー帰りまで過酷な生活が数か月続きました。当時の厚生省はエイズ、岡光事件とならんで、O157食中毒は省内の重要案件だったので、省内幹部、文科省や農水省など他省庁、そして官邸への対応などを若いうちに経験する機会としては貴重だったと思っています。

●初めての特例承認

平成21年4月、出向していた富山県のくすり政策課長から厚生労働省の審査管理課(現在の医薬品審査管理課)に戻り、7月から技術総括補佐に就きました。富山県から戻ってすぐ、当時の課長から、新型インフルエンザ対応に備えて、薬事法で規定はあるがまだ適用されたことがない、特例承認制度について整理するよう指示を受けた記憶があります。この年は年末にかけて、自分の役人人生でも1、2を争う忙しさでした。同時に3つの違う部署

から、打ち合わせをするので出て欲しい、と言われた記憶があります。それほど、課の技術総括補佐の責任が重く、これを補佐する人手も足りなかったためです。その年の夏頃から特例承認に向けての作業が本格化し、できるだけ早期に特例承認制度を初適用するという目標のもとで、限られた時間の中で法令上の解釈、通常承認と異なり省略できるデータの見極め、薬事審議会における議論など、緊張感のある対応を迫られました。自分としては役人人生後半に向けての試練の場であったと思っています。

●内閣官房医療イノベーション推進室創設、健康・医療戦略室に改組、そしてAMED創設へ

平成22年11月末、突然、内閣官房に医療イノベーション推進室が立ち上がるので12月から準備室に出向するように辞令を受けました。あまりの突然の意外な人事に驚きました。当時の民主党政権の仙谷官房長官を中心に、平成23年1月、東大医科研の中村祐輔教授が室長に招かれて立ち上がった組織でした。日本版NIH設置、ゲノム医療推進を目指して、各省庁の司令塔になることを使命としていました。しかし残念ながら、3月に東日本大震災が発生して、政治や行政はその対応に追われることになり、医療イノベーション推進室の構想はうまく進みませんでした。平成25年2月、自民党政権のもとで、組織は発展的に見直され、健康・医療戦略室が立ち上がりました。その使命は「(今度こそ)日本版NIHを実現する」でした。私は引き続き在籍していたので、日本版NIHをどのように実現するのか、財務省、経産省、文科省などからの出向者たちと緊張感のある議論と構想作りに関わりました。その後、7月に厚労省の厚生科学課研究企画官に戻り、日本版NIH(現在のAMED)立上げに厚労省側から引き続き関わりました。政府全体の大きな組織作りに関わった貴重な経験だったと思っています。

●薬剤管理官として、平成30年の薬価制度改革、調剤報酬改定

平成28年6月、薬剤管理官に就任しました。高額な薬剤について、社会の関心が強くなり始め

た頃の引き継ぎでした。その後、話題は大きくなっていく一方で、秋には、国会の予算委員会で、総理や官房長官、厚労大臣に高額薬剤問題を迫る質疑として取り上げられるまでになりました。政府全体の大きな問題となって平成28年の年末にかけて、期中では異例の薬価引下げ、毎年改定の4大臣合意と流れていく中の対応に迫られました。引き続いてこの後の平成30年改定までの薬剤管理官としての約2年間は私の役人人生で1、2を争う忙しさだったもう1つの時期です。この改定等については、製薬業界の皆様におかれましては、様々なご意見がおりかと思いますが、国民をはじめ、様々な関係者の立場も踏まえて、政府内で議論・検討が行われた結果、当時の政府の判断として実施されたものとしてご理解いただきたいと思います。

その後、コロナ禍においてコロナ検査キットの初めてのOTC化、食品衛生の規格基準行政が厚労省から消費者庁に移管されて初代の食品衛生・技術審議官になったことが印象に残ることとしてあるのですが、この2つについてはすでに、過去のJAPIC NEWS巻頭言で掲載いただいたのでここでは省略します。

気ままな1年間ののち、JAPIC理事に就任させていただく機会を得たことはとても光栄に感じています。厚労省の業務の中で医薬品等の安全対策を所管したことはないのですが、そこは新鮮な視点で物事が捉えられると前向きに考えて、31年間あまりの行政での経験を生かして業務に取り組んでまいりたいと考えております。

まだ着任早々でJAPICのことを十分理解できておりませんが、JAPICに蓄積された医薬情報のデータは非常に貴重で価値のあるものと思います。国でも医療DX推進のための施策が進められる中、JAPICが保有するデータについて、利用者ニーズに応えつつ、新たな付加価値がどう生み出せるのか、関係者のご理解、ご協力をいただきながら考えていくことが大事であると認識して取り組んでまいり所存です。

2026年7月末発売

JAPIC「医療用・一般用医薬品集インストール版2026年7月版」

医療用および一般用医薬品の電子添文情報を収録したWindows対応CD-ROMです！

◆収録内容(2026年6月までのJAPIC入手分を収録)

医療用医薬品データ

- 添付文書記載情報
- 後発品情報
- 薬価情報
- 識別コード情報
- YJコード、HOT番号
- 添加物情報
- 構造式イメージ

一般用医薬品データ

- 添付文書記載情報
- リスク分類
- 要指導医薬品(スイッチ直後品目・劇薬等) など

◆特長

- 薬価、先発品等／後発品情報、薬剤識別コード情報など**充実した収録内容**
⇒さまざまな角度からの、細かい条件での検索が実現！
- 製品情報、医薬品集本文データの**検索・表示・印刷・データ出力**が可能
⇒資料作成の補助ツールとしてご利用いただけます！
- 完全インストール仕様**により、スピーディな検索・結果表示を実現
⇒インターネット環境のない薬剤モニタリング業務などにも最適です！
- インターネット経由で、**電子添文PDFの表示**も可能
(医療用：週1回更新、一般用：月1回更新)
- 院内採用医薬品集編集機能**を搭載

◆価格：単回 14,300円(税込)

年間セット4枚(7月・10月・1月・4月) 26,186円(税込)



JAPIC「OTC医薬品CD-ROM 2026年7月版」

一般用医薬品の情報に特化したWindows対応CD-ROMです！

◆収録内容(2026年6月までのJAPIC入手分を収録)

一般用医薬品データの添付文書記載情報

- 製品名(和名・英名)、薬効名、使用上の注意、効能効果、用法用量等
- 「要指導医薬品」(スイッチ直後品目・劇薬等)

◆特長

- 文中語検索、リスク区分、成分名、小児に使える医薬品等からの検索が可能
⇒**検索項目が充実**しており、一般用医薬品を網羅的に検索！
- 一般用医薬品データの**表示・印刷・テキストデータ出力**が可能
⇒資料作成の補助ツールとしてご利用いただけます！
- インターネット経由で、**添付文書PDFの表示**も可能
(一般用：月1回更新)
- JANコード**による製品直接表示機能

◆価格：3,300円(税込)〔年1回発行〕



〔お問合せ先〕事務局 渉外担当(TEL:0120-181-276、FAX:0120-181-461)

医薬品集 発刊のご案内

JAPIC「医療用医薬品集2027」CD-ROM付 9月初旬発刊

- ◇2026年6月の後発品収載分までの情報を収載。
- ◇医療用医薬品電子添文情報を有効成分(約2,300成分)ごとにまとめて掲載。
約1,400成分については「構造式」も掲載。
- ◇同一成分内での剤形の違い・製品の違いにより効能・効果が異なる場合はその違いを明記。
- ◇医療用医薬品電子添文情報・一般用医薬品添付文書情報・医療用医薬品識別コード情報を収録し、最新医療用医薬品電子添文へのリンク機能*を搭載した検索用CD-ROM(インストール版)を添付。
*インターネットを経由してJAPICが運営するiyakuSearch掲載の電子添文PDFを表示
- ◇3分冊(分冊1:五十音索引+本文前半、分冊2:五十音索引+本文後半、分冊3:その他索引+付録+薬剤識別コード一覧)でのご提供。
- ◇更新情報メールの無料提供(要登録)。

◆価格:14,300円(税込)・B5判



JAPIC「一般用医薬品集2027」9月初旬発刊

- ◇国内流通の一般用医薬品、約10,000製品を収録(2026年7月までの一般用医薬品情報を収録)。「使用上の注意」の最新通知が盛り込まれた便利で使いやすい内容。薬局・ドラッグストア等におけるDI活動の資料等にご活用ください。
- ◇最新の添付文書を日本製薬団体連合会の委託を受け収集。国内流通の一般用医薬品をほぼ全て網羅。
- ◇医薬品ごとのリスク区分の記載を本文及び索引に掲載。また、一般用医薬品販売時に文書による説明義務がある第1類医薬品をまとめた「第1類医薬品一覧」、スイッチ直後品目・劇薬等の「要指導医薬品一覧」を収録。
- ◇付録には、重篤副作用疾患別対応マニュアル、国内副作用報告の状況、セルフメディケーション税制対象品目一覧、一般用医薬品のリスク区分一覧、一般用生薬製剤の使用上の注意、ブランド名別に成分の相違がよくわかるブランド名別成分比較表等の参考情報を収録。

◆価格:9,900円(税込)・B5判



〔お問合せ先〕事務局 渉外担当(TEL:0120-181-276、FAX:0120-181-461)

Information

インフォメーション

JAPIC「医療用医薬品集 薬剤識別コード一覧 2027」8月下旬発刊

- ◇識別コードから薬剤の商品名を調べられる一冊。
- ◇医療用医薬品集掲載の医薬品のうち、
電子添文に識別コード・包装コードの記載のある品目を掲載。
- ◇原則として、電子添文に基づき記載。
掲載項目は識別コード、色・割線、商品名(会社名)、一般名、規格単位、
薬効からなり、医療用医薬品集本文の掲載ページも記載。
- ◇ご利用しやすいよう薬剤識別コードの数字順、英字順、マーク順に配列。
会社ごとのマーク一覧についても併せて掲載。

◆価格:1,100円(税込)・B5判



〔お問合せ先〕事務局 渉外担当(TEL:0120-181-276、FAX:0120-181-461)

日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会(東京都港区)に出展しました

2026年6月6日(土)から7日(日)に開催された、第20回学術大会 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会(東京都港区)に企業出展しました。今回は、三代将軍徳川家光の頃の「出世の石段」で有名な愛宕神社にほど近い、東京慈恵会医科大学(東京都港区)にて開催されました。今年のテーマは「ジェネリック医薬品・バイオシミラーの更なる安定確保と産学官民連携」

でした。参加登録者数は350名ほどの事、多くの方が参加していました。

今回のJAPICの企業展示では、iyakuSearch

-医薬品情報検索システム-を中心にご案内いたしました。iyakuSearchはどなたでもご利用いただける医薬品情報検索システムであり、一部の情報はPlusサービスで有償となります。iyakuSearchのコンテンツには、医薬文献情報、学会演題情報の他、添付文書情報があります。添付文書情報の機能としては通常の全文表示他、任意の製品を選択した本文内容の比較表示する機能がごございます。添付文書の各項目ごとに横並びで表示され、例えば同一成分、同一規格で比較表示すると、効能効果の違いや、添加剤の違いを簡単に確認することが出来ます。この添付文書の比較表示はPlusサービスとなり、有償となります。しかしながらこのPlusサービスは、JAPIC会員の機関にご所属の方は無償でご利用できます。JAPIC会員の皆様には是非iyakuSearchのPlusサービスもご利用ください。



愛宕神社の鳥居とその奥に「出世の石段」
(別名男坂)



「第53回・2026年度GMP事例研究会」 開催のご案内

日本製薬工業協会（製薬協）品質委員会では、2026年度事業活動の一環として「第53回・2026年度GMP事例研究会」を日本医薬情報センターと共催することになりました。

近年、医薬品業界を取り巻く環境は大きく変化しており、安定供給体制の強化、品質不適切事案の再発防止、データインテグリティの確保、製造委受託における信頼性構築など、制度面および実務面の両側面において多くの課題が顕在化しています。このような状況において、製造販売業者および製造業者には、リスクに基づいたより高度かつ実効的な品質保証体制の構築が求められています。

このような背景を踏まえ、このたび当委員会は2026年度事業活動の一環として、『品質保証の実効性向上に向けた現場力・設備信頼性・デジタル活用の融合』をテーマに掲げ、「第53回2026年GMP事例研究会」を以下の要領で開催致します。

本事例研究会では、製薬協会員に限定せず、行政・業界に対しても幅広く受講者を募集致します。多数のご参加をお待ちしております。

◆日 時：2026年9月25日（金）13時～17時
（Webセミナーの形式で実施いたします。なお、研究会終了後、参加者に会議内容をオンデマンド配信予定です。）

◆参 加 費：製薬協会員 3,000円／名、非会員 4,000円／名
（お申し込み後にご案内する「決済画面」より、お支払い手続きをお願いいたします。お支払いは原則クレジットカード決済となります。なお、参加費区分については、「製薬協会員」となっており、「JAPIC会員」ではございませんのでご注意ください。）

◆参加申込方法：製薬協ホームページ（<https://www.jpma.or.jp/>）の一番上の「ニュースルーム」から、「イベント」を選択いただき、「2026年度GMP事例研究会」に参加の案内があります。そちらの記載に従い、お申し込みサイトで参加申し込みを行ってください。（JAPICホームページにおきましてもご案内いたします。）

◆問い合わせ先：

・講演会の内容に関する件

日本製薬工業協会 品質委員会事務局 （電話）03-3241-0375 （FAX）03-3242-1767

・参加申し込み方法に関する件

一般財団法人日本医薬情報センター （電話）03-5466-1812 （FAX）03-5466-1814

「理事会」「評議員会」の概要報告

令和7年度の事業報告及び決算についての理事会及び評議員会を5月22日(金)、6月8日(月)にそれぞれ開催いたしました。

今回の主な議題でありました事業報告・決算報告においては、事業及び決算ともに概ね順調に推移していることをご報告し、原案どおりに承認・決議されました(議題は以下のとおり)。なお、会員の皆様には、令和7年度事業報告書・決算報告書を先般ご送付いたしました。

また、6月8日(月)の評議員会において理事の異動が承認され、6月22日(月)の理事会(書面による開催)において役付理事等が選定されましたので、以下のとおりお知らせいたします。

○「令和8年度第1回(通算第171回)理事会」 5月22日(金) 15:00～15:50, 当センター4階会議室 《議 題》

1. 令和7年度事業報告の承認について
2. 令和7年度決算報告の承認について
3. 公益目的支出計画実施報告の承認について
4. 定時評議員会の招集の決定について
5. 報告事項
 - (1) 維持会員の異動について
 - (2) 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告について

○「令和8年度第1回(通算第60回)評議員会」 6月8日(月) 15:00～15:48, 当センター4階会議室 《議 題》

1. 理事の選任について
2. 令和7年度決算報告の承認について
3. 報告事項
 - (1) 令和7年度事業報告について
 - (2) 公益目的支出計画実施報告について

○「令和8年度第2回(通算第172回)理事会」 6月22日(月)、書面同意による 《議 題》

代表理事(会長及び理事長)、役付理事及び業務執行理事の選定について

【理事の異動】

《理 事》

退 任: 田端 秀日朗(中外製薬株式会社 プロジェクト・ライフサイクルマネジメントユニット スペシャリティライフサイクルマネジメント部 免疫領域戦略グループ グループマネジャー)
 中川 祥子(前 日本製薬工業協会 常務理事)
 林 正晃(武田薬品工業株式会社 Global Patient Safety & Pharmacovigilance, Interim Head
 兼 ファーマコビジュランス部 部長)
 百武 康成(田辺ファーマ株式会社 QV本部 QV企画部長 統括製造販売責任者)
 新 任: 飯山 千秋(中外製薬株式会社 医薬安全性本部 安全性データマネジメント部 部長)
 池本 浩史(武田薬品工業株式会社 日本開発センター ファーマコビジュランス部 PVプロセスグループマネジャー)
 河野 雅信(田辺ファーマ株式会社 執行役員QV本部長)
 高橋 剛(日本製薬工業協会 常務理事)
 中山 智紀(元 消費者庁 食品衛生・技術審議官)

以上 6月8日付
(※敬称略)

【役付理事及び常勤役員】

《非常勤》

会 長 村上 貴久
 副会長 茂松 茂人(公益社団法人 日本医師会 副会長)
 川上 純一(公益社団法人 日本薬剤師会 副会長)

《常 勤》

理事長 赤川 治郎
 理 事 山口 貴久
 本間 とも美
 中山 智紀

以上 6月22日付
(※敬称略)

くすりの散歩道

No.175

一杯のおいしい麦茶

(一財)日本医薬情報センター 事業部門 医薬文献情報担当

松本 彩希 Saki Matsumoto



あなたのいちばん好きな飲み物は?と聞かれたら、皆さまは何を選ぶでしょうか。ビールや日本酒などのお酒がないと困る派も、コーヒーや紅茶などほっと一息が欠かせない派もいるでしょう。私はというと、迷わず麦茶を選びます。麦茶には夏のイメージがありますが、私は季節を問わず一年中愛飲しています。暑い日のキリッと冷えた麦茶はたいへん魅力的ですが、冬の冷え込む日にはホットでもおいしく飲むことが出来ます。淹れたては湯気とともに立ち上る香ばしさが楽しめるのでおすすめです。

そんな麦茶の魅力のひとつである香りは、製法に深く関係しています。麦茶は大麦を焙煎したものを煮出したり、水で抽出したりして作られる穀物茶ですが、この焙煎の工程ではメイラード反応が起こりピラジン類などの香気成分が生成されます。これらはコーヒーにも共通する成分で、香ばしさの源となっています。

麦茶の他にそば茶、とうもろこし茶、黒豆茶なども似た製法で作られる穀物茶です。いずれも少しずつ違った特徴的な香ばしさがあり、飲み比べて好みのお茶を開拓してみるのもおすすめです。特にとうもろこし茶は、コーンスープを思わせる甘い香りに対して素朴な味で、飲むたびに香りと味の乖離に驚かされます。

ポーランドには「インカ」という穀物コーヒーがあり、コーヒー豆ではなく大麦やライ麦を原材料にしているそうです。以前飲んだことがあるのですが、見た目はコーヒーにそっくりで風味も近く、でもコーヒーほどの苦味はなく……麦由来と聞いて納得の優しい味でした。ただ、麦茶好きの私としては、もしやこれは薄めに淹れれば麦茶として味わえるのでは、という好奇心に駆られてしまいました。

このようなコーヒーの代替品としての焙煎穀物飲料は世界各国に存在しているようです。

一方で、日本での麦茶の歴史はなかなか古く、その原型は平安時代や室町時代で既に見られ、貴族や武将の間で飲用されていたとの記述があるのだと言います。江戸時代後期になると麦茶が広く普及し、庶民が茶店で楽しめる飲み物として扱われていたようです。今では生活に馴染みすぎていてわざわざお店で飲むお茶という感覚はありませんよね。しかし、もし現代に色々な種類の麦茶を飲み比べられる麦茶カフェがあれば、私なら是非とも通い詰めたいところです。

麦茶は同じ「お茶」でも緑茶や紅茶のように茶葉由来ではないため、カフェインが含まれていません。夜に飲んでも眠りを妨げることなく、小さい子どもでも安心して飲用できる点は広く親しまれている理由のひとつでしょう。さらに、麦茶に含まれる成分は抗酸化作用や糖尿病関連酵素の阻害作用、胃粘膜保護作用を有する可能性も報告されているそうです。

ここまで麦茶(と穀物茶)の良さについて語ってきましたが、足が早いというデメリットには注意しなければいけません。穀物の炭水化物を含むため、茶葉由来のお茶よりも傷みややすいと言われています。作った麦茶の場合も、ペットボトル製品に口を付けて飲んだ場合も、できるだけ冷所に置いてなるべく早く飲み切りましょう。

厳しい暑さはまだ続きそうです。おいしいお茶で水分補給を欠かさずに、今夏も健康に乗り切りたいものです。

【参考】

・全国麦茶工業協同組合

<https://www.mugicya.or.jp/index.html> (2026年7月6日参照)

外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より - (抜粋)

2026年6月1日～6月30日分のJAPIC Weekly News(No.1055-1058)の記事から抜粋

■米FDA

- Drug Safety Communication:米FDAは腎結石および腎障害のリスクを警告するために市販薬(OTC)の減量薬alli(orlistat)の表示変更を承認

<https://www.fda.gov/drugs/drug-safety-communications/fda-approves-labeling-changes-over-counter-otc-weight-loss-drug-alli-orlistat-warn-risk-kidney>

■英MHRA

- リコール対象部品を含むKimal Procedure Packs:Namic Angiographic Syringe(シリンジの接続が外れるリスク);Namic Manifolds(異物混入のリスク),代替手段がない緊急処置における使用に関する重要なガイダンス

https://assets.publishing.service.gov.uk/media/6a1027a429bb11891b1cf063/DSI_Kimal_Procedure_Packs_containing_recalled_components_-_Namic_Angiographic_Syringe_with_the_risk_of_syringe_disconnection_Namic_Manifolds_with_the_risk_of_foreign_particulates_DSI-2026-002..pdf

- Allurion胃内バルーン:胃流出路閉塞,小腸閉塞,胃穿孔のリスクがあるため,安全性情報を更新

https://assets.publishing.service.gov.uk/media/6a107a6a0026f30a6d421cd2/DEVICE_SAFETY_INFORMATION_-_Allurion_Gastric_Balloon.pdf

- ACE阻害薬:治療戦略が大きく異なるため,ブラジキニン起因性血管性浮腫とヒスタミン起因性血管性浮腫の区別に注意すること

https://assets.publishing.service.gov.uk/media/6a30210c1f6fa5c3377e5fa5/DSU_ACE_inhibitors_risk_of_delayed-onset_bradycinin-mediated_angioedema.pdf

■豪TGA

- Medicine Safety Update:FluMistの適応対象の年齢範囲に注意

<https://www.tga.gov.au/news/safety-updates/be-alert-flumist-indicated-age-range>

■医薬品医療機器総合機構

- 医療機器自主回収のお知らせ(クラスI)(販売名:RelayPro 胸部ステントグラフトシステム)

<https://www.pmda.go.jp/files/000281013.pdf>

- グラセプターカプセルとタクロリムス普通製剤(後発医薬品含む)との取り違い注意のお願い

<https://www.pmda.go.jp/files/000280850.pdf>

- ビーフリード輸液 調製時及び投与開始前の隔壁開通確認のお願い

<https://www.pmda.go.jp/files/000280848.pdf>

- GLP-1受容体作動薬及びGIP/GLP-1受容体作動薬の適正使用について

<https://www.pmda.go.jp/files/000281139.pdf>

■厚生労働省

- 「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」に基づく措置命令について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_73468.html

- 危険ドラッグの成分3物質を新たに指定薬物に指定

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000212707_00053.html

- 炭酸リチウム製剤の使用にあたっての留意事項について

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T260617I0030.pdf>

JAPIC事業部門 医薬文献情報(海外)担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail(有料)もしくはJAPIC Weekly News(無料)のサービスをご利用ください(JAPICホームページのサービス紹介:<<https://www.japic.or.jp/service/>>参照)。JAPIC Weekly Newsサービス提供を御希望の医療機関・大学の方は、事務局 渉外担当(TEL 0120-181-276)までご連絡ください。

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。

この情報は附属図書館の蔵書検索 (<https://www.libblabo.jp/japic/home32.stm>) の図書新着案内でもご覧いただけます。

これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。

閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越しください。

〈配列は洋書、和書別に書名のアルファベット順、五十音順〉

書 名	著 者	出版者	出版年月
British National Formulary No.91 March - September 2026 (BNF91)	Joint Formulary Committee	The Pharmaceutical Press	2026年3月
MIMS New Ethicals JUL-DEC 2026 Issue 45	Leilani Au ed.	MIMS(NZ) Ltd.	2026年
くすりと医療のたどった道 -古代から江戸までの病との闘い-	鈴木達彦 監修	内藤記念くすり博物館	2026年4月25日

情報提供一覧

2026年7月1日～7月31日提供

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新頻度
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free https://iyakusearch.japic.or.jp/	
1. 「一般用医薬品 (経済課コード)」 2026年6月分 (HP定期更新情報掲載)	7月1日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. JAPIC 「医療用・一般用医薬品集インストール版 2026年7月版」	7月17日	2. 学会演題情報	月 1 回
3. JAPIC 「OTC医薬品CD-ROM 2026年7月版」	7月31日	3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
4. 「JAPIC NEWS」 No.507 2026年8月号	7月31日	4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (郵送、電子メール等で提供)		5. 日本の新薬	随 時
1. 「JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報」	毎 週	6. 学会開催情報	毎 日
2. 「医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)」	毎 週	7. 医薬品類似名称検索	随 時
3. 「JAPIC-Q Plusサービス」	月 1 回	8. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
4. 「JAPIC-Q 医療機器情報サービス」	月 2 回	9. ブルーブック連携データベース	随 時
5. 「外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)」	毎 日	〈iyakuSearchPlus〉 https://iyakusearch.japic.or.jp/	
6. 「JAPIC Weekly News」	毎 週	1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
7. 「感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)」	毎 週	2. 学会演題情報プラス	月 1 回
		3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日
		4. Where	随 時

外部機関から提供しているJAPICデータベース

〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉 <https://jdream3.com/>



赤ジャピ50年の伝統を守り
薬剤師を中心とした
専門のスタッフが丁寧に作成しています。

2026年9月
発刊予定

本書の特長

- ◆2026年6月後発品まで収載
- ◆約50年の編集実績による信頼と使いやすさ
- ◆国内流通全医薬品の最新で正確な電子添文情報をお届けします！
- ◆「薬剤識別コード一覧」を収載
- ◆更新情報メールの無料提供（要登録）
- ◆CD-ROM付
- ◆分冊にて製作（ケース入り）

14,300円（税込）
B5判 約4,700頁（本文）



Windows版

CD-ROM 収録内容

- 医療用医薬品集
- 薬剤識別コード一覧
- 後発品の全情報
- 薬価情報
- 一般用医薬品集
- 最新電子添文画像（PDF）の表示機能付※
- 添加物情報

※要インターネット接続。
医療用医薬品は週1回、
一般用医薬品は月1回更新

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC** 編集・発行
丸善出版株式会社 発売

上記書籍の他、電子カルテやオーダリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース（添付文書データおよび病名データ）の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC(TEL0120-181-276)まで。



このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

べろにか・あふいら

学名: Veronica aphylla. 英名: leafless stemmed speedwell.
こまのはぐさ科くわがたそう属。多年生草本。南部から中央部のヨーロッパの山岳地帯に分布。7月から8月に茎頂に紫色の花を付ける。
Tetrahydroxyflavone系isoscutellarein (acetylcholinesterase 阻害活性) 等含有。(hy)



JAPICホームページより
<https://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。